

愛知県某所 水管橋補強

施工日： 令和3年6月24日
施工者： 株式会社折原製作所

(300A、鉄管)

腐食部、漏れていない状態での約80cm範囲の補強



①施工前 錆が全体的に酷く、一部はウエハース状になっている状態。



②施工中 最初に、ウェスで拭って取れる錆を取り除き、管全体にブチルロール(下地用ブチルゴム)を貼付け、管の凹凸を埋める。



③次に、壁との接続部分を一周と金具が有ってブチルロールを貼れなかった部分に、補強と凹凸を埋める目的でオリスチール(金属粉入りエポキシパテ)を充填する。



④最後に、防食補強を兼ね備えたパイプの延命補強材マホータイ(特殊レジン含浸グラスファイバーテープ)を巻き付け、緩みを解消する目的で硬化剤の水を手袋に含ませ、巻いた方向と同じ方向へと撫で付ける様に良く絞り施工終了。